

市報 やまぐち

2024

9/1

September
No.441



特集	子育てなら山口	2
特集	山口市菜香亭 20年の軌跡	4
■	市政トピックス	6
■	県央連携都市圏域の魅力を紹介「山口ゆめ回廊」	7
■	やまぐちの魅力 再発見 Rediscover Yamaguchi!	7
■	イベントカレンダー	8

子育てなら山口

少子高齢化などにより、全国的に人口減少が進む中、本市においては、市民の皆さんが豊かで安心して暮らせるまちづくりに向けて、さまざまな取り組みを進めており、現在、子育て世代の転入超過が続いています。今回の特集では、「子育て世代からさらに選ばれるまち」を目標に、今年度から開始する本市独自の取り組みを紹介していきます。

子どもの健康を支える

1歳児健康診査を受けましょう！

初めてお誕生日を迎える1歳前後は、個人差はありますが、ことばを話し始めたり、歩き始めたりと成長が目まぐるしく、食生活や育児環境なども大きく変化する時期です。これまで、1・3・7カ月、1歳6カ月、3歳の時期に、公費で健康診査を実施していましたが、1歳の時期に健康診査を受けるには全額自己負担となっていました。

そこで

本市では、令和6年8月1日から

1歳児健康診査の公費負担を始めました

実施場所

主に市内小児科 ※事前に健診日等を医療機関にお確かめください。

実施内容

身体測定・小児科健康診査

生まれてから就学までの切れ目のない健康診査の体制を整備し、安心して子育てができる環境の充実を図るため、本市独自の取り組みとして実施しています。

☎ 子育て保健課 ☎ 083 - 921 - 7085

おたふくかぜワクチン接種助成

おたふくかぜは、ムンプスウイルスの感染により発症します。主な症状は唾液腺の腫脹や発熱で、さまざまな合併症を伴うこともあり、無菌性髄膜炎、難聴などを引き起こすことがあります。また、発症すると保育所等を長期間休むことになり、子どもや保護者に身体的、精神的に負担がかかります。予防するためには、ワクチンの接種が有効ですが、これまで接種費用は、全額自己負担となっていました。

そこで

本市では、令和6年4月1日から

接種費用の助成を始めました

対象者は接種日時点で山口市内に住民登録がある、以下のいずれかの方です。

1回目

1歳以上2歳未満（令和5年4月2日以降に生まれた方）

2回目

5歳以上7歳未満（年長児の4月1日から3月31日まで）

助成金額

3,800円

※医療機関が定める接種料金から3,800円を差し引いた金額をお支払いください。

助成回数

1回目、2回目それぞれ1人1回ずつ

接種場所

指定の医療機関



詳しくは
こちら▶



☎ 健康増進課 ☎ 083 - 921 - 2666

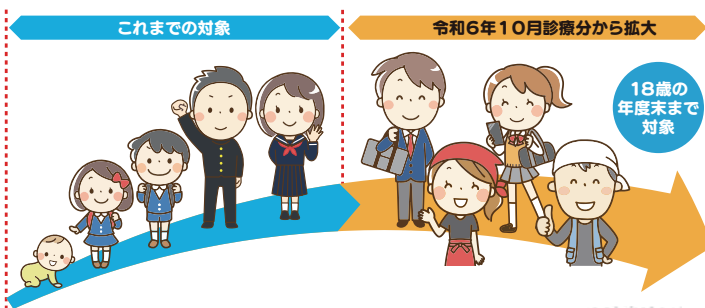
幅広い世代の子どもへ

10月スタート

高校生世代の医療費無償化

こども医療費助成制度は、本市に住む子どもの健全育成を支援するとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減することを目的とし、子どもの医療費の自己負担分を無料としてきました。

本市では安心して子育てや教育ができる環境づくりをさらに進めるため、令和6年10月1日から高校生世代（学校に通っていない人も含む）まで対象年齢を拡大します。受給までの流れについては、右の二次元コードをご確認ください。



詳しくはこちら▶



☎ 保険年金課 ☎ 083 - 934 - 2803

子どもを預けやすい環境づくり

9月スタート

第2子以降の保育料無償化

これまで本市では、保育所や認定こども園及び地域型保育事業所の保育料について、世帯の所得に応じて金額を決定していました。また、第2子（※1）以降となる園児については、世帯の所得や同時入所の有無に応じて無料、または、一部保育料のご負担をいただいております。

そこで 複数の子どもを育てる家庭の
第2子以降の保育料を無償化(※2) します

所得に関わらず、誰もが子どもを安心して生み育てられる環境づくりを進めます。

（※1）保護者が監護し、生計が同一のお子さんのうち、最年長者を第1子、その下の子を第2子とカウントします。

（※2）0～2歳児クラスが無償化の対象です。

保育園の定員増加

共働き家庭が増加するとともに、保育のニーズも高まりつつある現在。そのニーズに応えるため、令和6年度は、保育園（認可保育施設）等の定員を149人増やしました。また、保育の受け皿づくりを進めるため、本市では、保育士になりたい人を応援する講座を開き、保育士の確保に向けた取り組みを行っています。

保育士資格応援講座

保育士の資格取得を目指す方向けの講座です。保育士の役割や資格取得までの流れ、保育士の仕事内容・働き方等が学べます。

潜在保育士応援講座

以前、保育士として働いたことがある方や、保育士（または保育士）資格は持っているけれど保育士として働いたことのない方向けの講座です。

詳しくはこちら▼



☎ 保育幼稚園課 ☎ 083 - 934 - 2798



山口市菜香亭 20年の軌跡

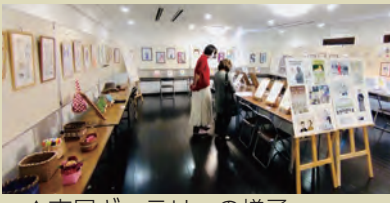
問 文化交流課 ☎083-934-4155

歴史を語る 山口の迎賓館

山口市菜香亭は、明治10年から平成8年までの120年にわたり政治家や文人などをもてなしてきた料亭「祇園菜香亭」を現在の場所(天花)に移築復元し、山口の観光拠点として、また市民交流の場として平成16年に開館しました。

移築前の木材などができるかぎり使用した建物で、百畳の大広間には井上馨や佐藤栄作など著名人の扁額29枚とゆかりの所蔵品が展示されており、当時の面影を今に伝えています。現在も国内外から多くの来館者をお迎えし、着物体験や抹茶体験等を提供しています。

また、館内各部屋は貸し出しも行っており、歴史や文化を生かした事業の実施や市民の文化活動・まちづくり活動の場を提供し、多くの方にご利用いただいています。



▲市民ギャラリーの様子



▲ワークショップの様子

今回は、開館20周年を迎える山口市菜香亭のあゆみと今後開催される記念イベントについてご紹介します。

20年の主な出来事

2004 10月 開館

2005 7月 市民ギャラリーの開始

2007 3月 着物体験・人力車運行を開始



2009 10月 開館5周年



▲料亭「祇園菜香亭」で結婚式を挙げ、金婚式を迎えられた方をご招待しました

3月 入館者20万人達成

2010 4月 リニューアルオープン



▲「歴史巡りの庭」と「多目的広場」を整備しました

2017 2010

開館20周年記念イベント

問 山口市菜香亭 ☎ 083-934-3312

住所：天花 1-2-7
 観覧時間：9時～17時 観覧料：大人100円、小人50円
 休館日：毎週火曜日（祝日の場合はその翌日）
 イベントの詳細は右の二次元コードをご参照ください。



特別展示「料亭を彩る屏風」

9.4 (水)
 10.28 (月)



屏風は実用的な調度品としてだけでなく、空間を装飾する美術品としても用いられてきました。雲谷派の作品など、料亭「祇園菜香亭」を彩った貴重な屏風を一堂に展示。9月・10月で展示が替わります。

20周年記念×山口大学公開講座 「大内氏の歴史と饗応文化」

9.28 (土)
 15時～



大内氏の歴史を学ぶとともに、大内義興が將軍・足利義植をもてなした料理を再現した「大内御膳弁当」の会食を通じ、山口市の魅力を再発見。要申し込み。¥8千円（弁当代含む）

▲平成22年に行われた大内御膳再現の様子

アートdeおもてなし ～さいこうのおもてなし～

10.3 (水)
 10.6 (日)



アーティスト11人によるアート展示。萩焼、和紙、竹細工、和雑貨等、芸術の秋をお楽しみください。

平安のしるべ ～十二単お服上げ実演～

11.9 (土) 11.10 (日)
 18時～ 10時～

NHK大河ドラマ「光る君へ」の舞台は平安時代。改めて注目される「十二単」のお服上げ（着付け）実演を開催。申込受付は10.16 (水)～
 ■NHK大河ドラマ「光る君へ」展 11.1 (金)～11.10 (日)
 ■源氏物語講座「六条院を彩るくみやび>って何？」（講師：森野正弘氏 山口大学大学院東アジア研究科教授）11.2 (土) 10時30分～ 申込受付は9.18 (水)～

企画展 「山口の近代建築と菜香亭」

11.13 (水)
 12.27 (金)

山口の近代建築と菜香亭建築の歴史を紐解く企画展。
 ■ギャラリートーク（講師：原田正彦氏 山口近代建築研究会代表）12.14 (土) 13時30分～
 ■講演・まち歩き「菜香亭と歴史まちづくり」11.16 (土) 13時～16時 申込受付は9.18 (水)～

20周年記念×山口メセナ倶楽部30周年記念 「神田京子独演会」

11.23 (土祝)
 ①13時30分～
 ②18時～



①新作講談「大内義弘伝～命の炎を燃やした男～」、②講談話「浪沢栄一伝～繰り返さない、明日へ～」 申込受付は9.18 (水)～

申 山口商工会議所 ☎ 083-925-2300

開館20周年を振り返って

平成8年に開館した祇園菜香亭。その年に大殿地域（現在の大内文化特定地域）で始められたイベント「アートふる山口」が山口青年会議所や地域の方々、若者と共に生まれ、菜香亭は中心的な舞台となりました。

しかし、老朽化した施設をイベントの運営だけでは維持できない状況の中、地域の方などを中心に清掃活動や保存を願う署名活動が行われました。また、初代館長を務められた故福田礼輔氏を始めとする諸先輩方の助力のもと、山口の迎賓館、料亭を舞台に多くの先人が集った文化的価値、明治、大正、昭和と増築拡張される中での建築的価値を文化庁に認められ、現在の場所に移築保存が決まりました。

開館20年、ご来場いただいた多くのお客様、献身的に支えていただいた地域、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。これからも山口の本物を体感できる空間として成長してまいります。また、今年20周年を記念し、多彩なイベントを予定しております。ぜひ足をお運びください。



山口市菜香亭 館長 岡部 達矢

2024

2021

2020

2018

3月

4～12月

10月

10月



▲対談には、菜香亭北客間にある佐藤栄作元首相愛用の椅子が使われました

NYタイムズ紙「2024年に行くべき52カ所」に山口市を推薦したクレイグ・モド氏と市長の対談が行われる

山口ゆめ回廊博覧会 関連事業開催



▲ワークショップ「なりきり雪舟～みんなで作ろう長巻図」

雪舟生誕600年記念



明治維新150年 入館者50万人達成



ウェブサイトでも公開中

絵画「ポジティブ」を寄贈いただきました

7月19日（金）、長年にわたり本市の文化振興・発展に寄与された故足立明男氏のご遺志によりまして、ご遺族から、吉村大星さんの絵画を寄贈いただきました。

このたび寄贈いただく絵画「ポジティブ」は、第9回やまぐち新進アーティスト大賞受賞者であり、本市在住の吉村大星さんにより、色鉛筆を用いて、猫が写実的に描かれた作品です。



▲記念撮影の様子（左側2人が足立氏のご子息様、中央右が市長、右が吉村さん）

足立氏のご子息である足立倫明さんは、「父は猫好きで、吉村先生が制作されたこの絵画を大変気に入っていた。生前、山口の皆さんに見ていただける所に飾って欲しいと述べており、吉村先生の地元であり、父を語る上で外すことのできない母（故足立明男氏の奥様）の出身地でもあ

る、この徳地地域に飾っていただけることは大変うれしいこと。見ていただいた方に、優しくポジティブな気持ちになっていただきたい」と述べられました。

市長は「この徳地の地に、吉村先生の絵を飾ることができることを大変うれしく感じる。この絵が、徳地地域のみなならず、本市の多くの皆様に愛される絵となることを願っている」と感謝の意を述べました。

寄贈いただきました絵画「ポジティブ」は、徳地総合支所の2階ロビーに展示しています。

徳地総合支所地域振興課 ☎

0835・52・1111

山口市・公州市姉妹都市締結30周年記念式典を行いました

山口市と韓国・公州市は、平成5年2月23日に姉妹都市締結を結び、令和5年に締結から30周年を迎えました。それを記念して、8月6日（火）に公州市のチェ・ウォンチョル市長を団長とした公州市訪問団を本市にお迎えし、記念式典を行いました。

伊藤市長は「公州市の皆様とは、これまで教育や文化、スポーツといった幅広い分野において相互交流を行い、市民主体の交流事業を通じて、友

好を深め、相互の絆を築いてきた。このたびの訪問が、お互いの心と心が通じ合う、両国の未来に向けて発展的な交流となり、友情の輪をさらに広げる機会としたい」とあいさつしました。

チェ・ウォンチョル市長は「これまで両都市は文化・教育の多方面で交流し、協力ということ以上に、市民同士の心と心を繋ぐ架け橋の役割をしてきた。これからもお互いの価値を尊重し、よりよい未来に共に進まなければならぬ。本日の記念式が両市の友情を深めるとともに、これから300年以上も関係が続いていく基盤となることを期待している」と述べられました。



▲記念撮影の様子

公州市訪問団には、山口七夕ちょうちんまつりや国宝瑠璃光寺五重塔の見学など、山口の伝統文化を肌で感じていただきました。また8月7日（水）には、公州市忠南燕亭国楽団の演奏会が開かれ、山口市民も韓国の伝統音楽などを楽しみました。

国際交流課 ☎083・934・2725

表紙の写真

子どもの成長をみんなで支える

表紙の写真は、山口市こども家庭センターで行われた、育児相談の様子です。

育児相談は、日頃の育児についての悩みや保護者の健康など、気軽に話せる機会となっています。保健師が身長や体重を測定しながら成長・発達の相談に応じるほか、管理栄養士が食事の相談に応じつつ、おすすめレシピを紹介したり、歯科衛生士が歯の正しい磨き方や虫歯予防についてアドバイスをしたりと、多様な相談内容に専門スタッフが応対するため、子育てに関する悩みの早期解決につながります。

この日もたくさんのお母さん、お父さん、お子さんが参加されました。育児相談は悩みを解決する場としてだけではなく、子育て中の親同士の交流の輪を広げる場にもなっています。おしゃべりを通して心のリフレッシュをしてみるのはいかがでしょうか？

育児相談は各保健センター、地域交流センターでも開催しています。

育児相談 参加者の様子



詳しくはこちら▶





美祢 第46回秋吉台観光まつり
花火大会 (有料開催)

全国的にも珍しい「山」で行われる花火大会で、山中に轟音がこだまします。(予約専用フォームから要事前申し込み)。



▲詳細はこちら

日時 9月7日(土) 15時30分～20時30分

場所 秋吉台カルスト展望台付近(秋芳町秋吉 11237-862)

☎ 美祢市観光協会 ☎ 0837-62-0115

萩 令和6年度須佐歴史民俗資料館テーマ展「品川弥二郎と須佐～弥二郎の先祖さがし～」

松下村塾の門下生であった品川弥二郎を取り上げます。弥二郎の曾祖父は須佐の出身。弥二郎が書いた手紙などを紹介します。



▲詳細はこちら

期間 10月14日(月・祝)まで

所 須佐歴史民俗資料館(須佐 4441-10) ☎ 08387-6-3916

津和野 くすり箱にみる家庭看護のいまむかし

病院・薬局がまだあまりない時代に薬箱が果たした役割は大きなものでした。「くすり箱」を中心に家庭内看護の移り変わりをたどります。



▲詳細はこちら

期間 9月14日(土)～12月1日(日)

所 旧畑迫病院(邑輝 829-1) ☎ 0856-72-0338

山陽小野田 史跡周防灘干拓遺跡 歴史講演会

演題①「はまごちょうからひ 浜五挺唐樋に関する史料調査成果について」



▲詳細はこちら

演題②「なたましんがいきくなんばんひ 名田島新開作南蛮樋の歴史と保存について」(要事前申し込み)

日時 9月27日(金) 13時30分～15時30分

場所 山陽小野田市民館文化ホール(栄町 9-25)

☎ 山陽小野田市歴史民俗資料館 ☎ 0836-83-5600

宇部 UBE URBAN SPORTS FES 2024

中心市街地を舞台に、スポーツの魅力と街の魅力を掛け合わせた熱いイベントが開催されます。ゲスト: Shigekix 選手(ブレイキン)、中山楓奈選手(スケートボード)



▲詳細はこちら

日時 9月29日(日) 10時～16時

場所 宇部市中心市街地エリア内特設会場(常盤町一丁目)

☎ スポーツ振興課 ☎ 0836-34-8614

防府 国際ソロプチミスト防府 認証40周年記念チャリティコンサート 小林愛実 ピアノコンサート

今、世界的な活躍を期待される日本の若手ピアニストとして注目を集めている小林愛実の演奏をご堪能ください。(全席指定)



▲詳細はこちら

日時 9月20日(金) 19時～21時

場所 三友サルビアホール(緑町 1-9-1)

☎ 防府市地域交流センター アスピラート ☎ 0835-26-5151



やまぐちの魅力 **再** 発見
Rediscover Yamaguchi!

vol.4

#3, Yamaguchi, Japan 52 Places to Go in 2024

今、世界的に注目を集める山口市。その魅力を再発見すべく、注目スポットやそこに携わる「人」の声をご紹介していきます。

☎ 広報広聴課 ☎ 083-934-2753



洞春寺～お寺がつなぐコミュニティ～

お寺から聞こえるいろいろな声!?

県庁の近く、水の上町にある古刹・洞春寺。毛利元就の菩提寺として創建され、幕末に現在の場所に移りました。山門と観音堂は国指定の重要文化財で、山門の檜皮葺き屋根は、令和2年度に葺き替えが行われました。

ところで、皆さんは「お寺」にどんなイメージをお持ちですか? 洞春寺の境内では、時にコンサートや寄席、eスポーツ大会やワークショップなどが行われ、かつてお寺の納屋だった建物は、陶芸工房「水ノ上窯」となっています。ここは、さまざまな人が集まり、言葉を交わす、交流の場という一面も持っているのです。しかも、犬のマル住職をはじめ、裏山からはヤギや馬の鳴き声も!?

今回は、ドイツからボランティアとして洞春寺に滞在しているシモーナさんにお話を聞きました。



▲ワークショップ(流しそうめん)の様子

Interview.

シモーナ・パパドプーールさん

洞春寺 国際ボランティア



「そのままの山口」であり続けてほしい

昨年8月から洞春寺で、お寺と地域を結び付ける活動のサポートや馬のお世話などを行っています。

山口に来てまず驚いたのは「人の優しさ」でした。道に迷ったときに声をかけてくれた人は、洞春寺の近くまで一緒に歩いて案内してくれたのです。また、歴史、自然と調和した街並みは美しく、ニューヨーク・タイムズ紙に山口市が選ばれたのも納得です。

洞春寺と地域との関わりは特徴的です。ここは歴史ある建物でありながら、地域のさまざまな人の交流や活動の場となっています。そこで意見が交わされ、異なる視点を受け入れることで発想が広がり、また新たな活動を練る、そうした動きを生み出す場所と言えるかもしれません。

この地域で育まれた人々の関わりや文化など「そのままの山口」の魅力がこれからも大切に受け継がれてほしいです。



イベントカレンダー

9/7 (土) ~ 11/30 (土)

山口紙芝居定期上演

所 狐の足あと
☎ 083-921-8818

9月から11月の毎週土曜日(16時~17時)に「白狐が見つけた湯田温泉」などを上演します。※10/26(土)は休演。



9/13 (金) ~ 10/6 (日)

中園町で逢いましょう

所 山口情報芸術センター [YCAM] **☎** 083-901-2222

市内の空き家を公共空間として利用し、多種多様なイベントを開催したアートプロジェクト「meet the artist 2022: メディアとしての空間をつくる」の成果を発表するイベントです。



撮影：谷康弘

9/20 (金) ~ 23 (月・休)

第2回防長創作会大作品展

所 山口市菜香亭
☎ 083-934-3312

主に山口県の歴史にインスパイアされて制作した、まんが、イラスト、模型、水墨画など多彩なジャンルの作品を展示します。

9/21 (土) ~ 22 (日・祝)

山口ゆらめき回廊

所 香山公園
間 大路口ビー
☎ 083-920-9220

国宝瑠璃光寺五重塔で有名な香山公園をキャンドルで灯します。



9/25 (水) ~ 12/16 (月)

企画展「男爵 木梨精一郎」

所 十朋亭維新館
☎ 083-902-1688

幕末から明治期に軍事・行政で活躍した宮野地域ゆかりの人物・木梨精一郎について紹介します。※10/6(日)、11/16(土)、12/7(土)はギャラリートーク(各回45分程度)を開催。

開催中のイベント

9/8 (日) まで

企画展「やまぐち遺跡案内所」

所 山口市歴史民俗資料館
☎ 083-924-7001

市内の各時代を代表する遺跡20カ所を選定し、発掘調査の成果を紹介します。

9/23 (月・休) まで

特別企画展「中也とランボー、ヴェルレーヌ」

所 中原中也記念館
☎ 083-932-6430

中原中也に大きな影響を与えたフランス印象派の詩人、アルチュール・ランボーとポール・ヴェルレーヌ。多くの人々を惹きつける3人の詩の世界を紹介します。



企画展「わほんのえほん」

所 十朋亭維新館
☎ 083-902-1688

絵入りの和本(和紙を糸などでとじた本)の紹介を通じて、本の成り立ちや和本の仕組みについて紹介します。小学生を対象にした展示クイズもあります。

一緒に
明るい未来を若い世代と

市内には、若い世代の政治や選挙への関心を高めるために活動している大学生のグループがあり、先月、その皆様が企画した「山口市子ども議員体験講座」を、「山口市の未来を子どもたちでつくる」をテーマに初めて開催しました。体験講座では、15名の小学生からなる子ども議員の皆様が、市議会の議場で、学習環境の課題をはじめ、ごみ問題や交通事故への対策など、身近な出来事に関する質問を行い、私や教育長がお答えいたしました。

この講座の会場となった現本庁舎は、山口大学教育学部の校舎を引き継ぎ、長きにわたり多くの市民の皆様が愛され利用されてまいりました。その歴史ある庁舎で、まさに大学生の発案により、将来のまちづくりを担う子どもたちと活発な意見交換ができたことを大変うれしく思うと同時に、こうした次世代の皆様が、現在建設中の新本庁舎を新たな舞台に、山口市の未来を築いてくれる、そんな期待感を持つことができました。

山口市長

伊藤和貴



©りおた

